

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 22 日 (2017.6.22)

【公表番号】特表 2016-533571 (P2016-533571A)

【公表日】平成 28 年 10 月 27 日 (2016.10.27)

【年通号数】公開・登録公報 2016-061

【出願番号】特願 2016-522862 (P2016-522862)

【国際特許分類】

G 0 5 B 19/4097 (2006.01)

B 2 9 C 67/00 (2017.01)

B 3 3 Y 50/00 (2015.01)

B 3 3 Y 30/00 (2015.01)

B 3 3 Y 10/00 (2015.01)

G 0 6 F 17/50 (2006.01)

B 2 2 F 3/105 (2006.01)

B 2 2 F 3/16 (2006.01)

【 F I 】

G 0 5 B 19/4097 Z

B 2 9 C 67/00

B 3 3 Y 50/00

B 3 3 Y 30/00

B 3 3 Y 10/00

G 0 6 F 17/50 6 0 8 A

B 2 2 F 3/105

B 2 2 F 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 9 日 (2017.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 1 】

図 1 および図 2 を参照すると、本発明の実施例に従うレーザー凝固装置は、ビルドチャンパー 1 1 7 および粉末が堆積させられ得る表面を画定する仕切り壁 1 1 5、1 1 6 をその中に有するメインチャンパー 1 0 1 を含む。ビルドプラットフォーム 1 0 2 は、選択的なレーザー溶融粉末 1 0 4 によって形成される物体 1 0 3 を支持するために設けられている。プラットフォーム 1 0 2 は、物体 1 0 3 の連続層が形成されるとき、ビルドチャンパー 1 1 7 の中で下降可能とされる。利用可能なビルドボリュームは、ビルドプラットフォーム 1 0 2 がビルドチャンパー 1 1 7 内で下降させられ得る程度によって画定される。物体 1 0 3 が小出し装置 1 0 8 およびワイパー 1 0 9 によって形成されるとき、粉末 1 0 4 の複数の層が、形成される。たとえば、小出し装置 1 0 8 は、国際公開第 2 0 1 0 / 0 0 7 3 9 6 号公報に説明されているような装置であり得る。レーザーモジュール 1 0 5 は、粉末 1 0 4 を溶融させるためのレーザーであって、レーザーは、コンピューター 1 3 0 の制御のもとで、オプティカルモジュール 1 0 6 によって、必要に応じて向けられるレーザーを生成する。そのレーザーは、窓 1 0 7 を介してチャンパー 1 0 1 に進入する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 9 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 9 2 】

図 5 は、セクション 2 3 1 にスライスされた連結されるサポート 2 3 0 と、オブジェクト 2 3 5 の下部と、を大写しにしたものである。この図では、複数のサポート 2 3 0 は、物体 2 3 5 からのサポート 2 3 0 の分離を容易にするために脆弱な領域をもたらすように、先細りに示されている。使用者は、スライシングの後、オブジェクトおよびサポートを検討し、支持を必要とするが現在、サポートを欠いているいずれかのオブジェクトの領域があるかどうかということを決出し得る。矢印 2 2 0 によって示されているように、その領域が、より高い層の形成により支持されている領域に接合するまで初期に支持されていないサポート 2 3 0 a とサポート 2 3 0 b との間に支持されていない領域がある。したがって、サポートは、この領域の形成を開始する初期の層を支持するために設けられるべきである。そのような複数の領域は、オブジェクトが薄く切られた後、より明らかになり得る。